

2015/11/05 卓話:平井憲太郎様「ローターアクトについて」

ご紹介いただきました平井憲太郎と申します。よろしくお願い致します。普段は池袋東武デパートの上で例会をやっておりますが、今東武デパートは大改装中で、現在はホテルメトロポリタンで例会をやっております。12月から東武デパートに復帰する予定ですが、改装で例会場がものすごく狭くなってしまい、どうしようかと今みんなで悩んでおります。

それはさておき、私のロータリー経歴はまだ17年目で、一般的なロータリアンからするとまだ若造。さらに清水さんのお話にもありましたが、私も年齢は65歳で高齢者の札をいただいておりますが、ロータリーでは若手です。というわけでこれも何とか直していかなければいけないというのが私の昔からの考えで、ロータリーに入りまして最初の2~3年は鳴かず飛ばずで、仕事も40代で忙しい時期だったこともあって、例会にも滅多に行かないで不良会員だったのですが、クラブの誰かが私を「青少年交換委員」に送り出してしまいました。たまたま私は仕事を後輩に譲りまして40代末~50代に入ってからなのですが、いつまでも50代がそういう編集長をやっておりますとお客様とともに年をとってしまい、共に倒れるという最悪のストーリーが待っていますので、担当者を30代に譲りまして、私は半分引退すると決めました。それがたまたま青少年交換委員になった時のタイミングと合いました。それが原因でロータリーにはまってしまいました。

ということでクラブの例会に出なくても青少年交換委員をやっていますと常に100%をキープ、時には200%を軽く超えるような状態が続きまして、お陰様でなんとか15年間皆出席を自クラブにあまり出席しなくても続けられているというのが今の姿です。

ローターアクトというロータリーの運動は、今から45年位前に始まってそれもあって黒岩会長のおっしゃったように、ここのところ45周年というローターアクトが目白押しなのです。

それまで国際ロータリーというのは個人の奉仕が中心でした。ロータリー全体で何かをやろうということに、50年位前まで後ろ向きだったのです。それが団体で推し進めようという運動が、国際ロータリーで出来てきたのが今から約50年前。そのときにインターアクトやローターアクト。青少年交換というのは、これ自身は昔からクラブとクラブの間では国際的にやっていたのですけれども、国際ロータリーのプログラムとして取り上げ始めたのもやはり50年くらい前です。そういうターニングポイントが、今から50年位前にあったそうです。

古いロータリアンに聞きますと、ローターアクトクラブが出来たときにはロータリーは滅びると言われたそうです。インターアクトは14歳から18歳という縛りがあって、最初は少年の指導だったのですが、終わった人をどうするのだという話からローターアクトが生まれたそうです。その次はローターアクトも終わったあとはどうするのだ、という話を我々は引き継がなければならぬんだと思いますが、そういう意味でも是非皆様にローターアクトというものに興味を持っていただきたい。

ローターアクトというものは20代がメインですから皆さん、ごく最近まで20代だった方もいらっしゃるでしょう。遠い昔20代だったという方もいらっしゃると思うのですが、やっぱり社会人なりたての頃というのは自分の時間が自由にならないし、突然仕事が飛び込んできて断れないし、さらには転勤もあり、非常に慣れていないこともあってややこしい時期です。そういう時期に新しい人脈を作っておくことの重要性に気づく年代でもあると私は感じています。

これからお話をする山本さんも最初、静岡でローターアクトに入って転勤で東京に来て、東京でローターアクトクラブを探して再入会したのです。黒岩会長はずっと九州で入っていたのですよね。そのようなことで、貴クラブは作ることを検討なさっているというお話なので是非成功させてい

ただきたいと思います。

ちなみに作り方という話もあったのですが、今日の演題は「ローターアクトについて」ということです。簡単に作り方を申し上げますと、ロータリークラブですと人頭分担金というものがありまして、会費を収めた実績がないとロータリークラブとして認められません。しかしローターアクトクラブというものは一回登録したら永遠に消さない限り消えません。最初登録に要する費用は米ドルの50ドルです。米ドルで50ドルを国際ロータリーが指定する日本事務局の口座に振り込むだけです。あと会長、幹事、ロータリーアクター15名以上の名簿を揃え、ガバナーのサインをもらうと自動的に出来上がります。

ローターアクトクラブで大事なことは作ることでなくて、維持することなのです。ローターアクターというのは30歳で自動的に卒業なのです。ロータリアンは死ぬまでロータリアンです。そこに大きな違いがあります。ですからローターアクターは常に再生産をしていかないと自然消滅してしまう危険性にさらされています。そういうわけでは是非皆様方の身の回りにいる20代の方、もちろん18歳からでもいいのですが、あと社員の方でそういう方がいたら是非勧めていただきたいと思います。

やはり20代のときに職場や学校を超えて出来た友達は、また違う価値があると思います。そういう意味では是非、ローターアクト運動に皆様の力添えをいただきたいと思います。日本国内ではローターアクトの数は決して多いわけではないのですが、伸び率という意味では日本随一になっております。そういう意味でもまだ伸びしろがあるとご理解いただいてもいいかと思っております。是非皆様のご支援をお願いしたいと思います。

今日お話をさせていただく山本君についてですが、ローターアクトは地区ごとにグループを組んでおり、わが地区でも地区の委員会というのがあり、さらにローターアクター達も地区の役員を選んでいるので、役員会をやっています。そのなかでも彼は広報担当の委員長をやっておりますので、今回の卓話で誰を送ってくれる？と聞きましたら彼が来るということで、一番の適任者だと思っております。是非ご清聴をお願いしたいと思います。(拍手)

<山本さん>

あらためまして皆さん、こんばんは。平井様よりご紹介いただきました東京東江戸川ローターアクトクラブの山本と申します。私は普段「貝印」というカミソリの会社で営業マンをやっております。今日はローターアクトの営業マンとして皆様にお話をさせていただいております。今日は切れ味のいいお話をしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

まず平井様からもお話がありましたが、ローターアクトは厳密に言うとロータリーの青少年奉仕プログラムのひとつになっております。青少年奉仕プログラムのなかにはインターアクトクラブ、14歳から18歳まで。ロータリーの青少年交換、ローテックスというものです。あと14歳から30歳迄のロータリー青少年指導者育成プログラム・ライラというのがあります。そのなかのひとつに私達ローターアクト、18歳から30歳までの組織がございます。写真を提示しながら説明していきたいと思っております。

こちらが実際のローターアクトの会員です。こういった元気な若者が活動しております。どういう活動をしているかというと「奉仕を通じての親睦」という標語で具体的には私達のクラブでいうと荒川の清掃や特別支援学校のボランティアをして交流を深めながら活動を行っております。

そしてローターアクトの誕生から現在ということですが、ローターアクトで一番最初に出来たのは、今から47年前、1968年3月「ノースシャーロットローターアクトクラブ」がアメリカ・ノースカロ

ライナ州で誕生いたしました。こちらが今世界にあるローターアクトクラブのなかで一番古いものです。日本においては同年6月、埼玉県の川越ローターアクトクラブ、国際商科大学ローターアクトクラブが誕生しております。そして現在の会員数は世界全体では18万人、およそ3300クラブ、日本においては会員数3300人、クラブ数は300存在しております。

現在、日本にはロータリーの地区は34地区ありますが、秋田を除く33地区で私達は活動しております。そしてそのなかで私達、2580地区のローターアクトは現在沖縄に3クラブ、東京に10クラブになりました。丁度昨日、東京浅草中央ローターアクトクラブというものが認証伝達を受けて発足いたしました。先ほど平井委員長がおっしゃったようにローターアクトクラブの誕生についてはここ数年でかなり伸びている地区となっております。

こちらは今から3年前、当地区7クラブ、57名の会員でした。30年ほど前はこの地区でも30クラブほどありましたが、ローターアクトクラブは継続が難しいということでどんどん数が減ってしまいました。ですが昨年には12クラブ、120名と、この3年で倍増しております。本当に伸びしろのある地区です。全国でもかなり勢いのある地区となっております。

そしてローターアクトの目的ですが、簡単に要約すると国際ロータリーの指導後援のもとに奉仕活動を行うことを奨励して、その活動を通じて地域社会における将来の指導者を育成する団体となっております。

ローターアクトの楽しみ方ということですが、実際にローターアクトがどのような活動をしているかをご紹介させていただきたいと思います。

まず、「風船バレー」という活動で、こちらは私が所属する東京東江戸川ローターアクトクラブの提唱ロータリーである「東京東江戸川ロータリークラブ」主催で江戸川地区の障害者を集めて風船でバレーボールを行ったときのものです。普段、こういった子供達と接する機会がないなか、こういう活動ができて本当にいろいろと考えさせられた機会になりました。

あとは「ポリオ撲滅活動」ということでローターアクトのほうも今1%の戦いと言われているポリオの撲滅活動に参加させていただいております。私自身も1年前の2月に、インドで行われているNIBというポリオワクチンの投与の活動に提唱ロータリーのロータリアンさんからお誘いをいただき、実際インドに行ってワクチン投与を行ってまいりました。

一番左下の写真は愛国学園インターアクトクラブという高校生の間で私がお話させていただいたときの写真です。

具体的には私達ローターアクトはお金での寄付というのは難しいので、街頭での募金活動をしたり、こういうスピーチ活動をさせていただいて、ポリオについて啓蒙活動をしていこうということで、このような活動をさせていただいております。

こちらは私のクラブの活動ですが、通常例会といわれる卓話者を招いての例会に加えて「荒川クリーンエイド」と言われる清掃活動、また特別支援学校でのレクリエーションのボランティアなどを中心に行っております。なかなかこの年になって清掃活動をするのではないのですが、実際清掃活動してみると注射器やペットボトルが非常に多いことに気づきます。そういう「気づき」を得られるいい機会だと私は思っております。

東京池袋ローターアクトクラブという今、私達の地区で一番活発に活動をしているクラブがあります。このクラブの活動をご紹介させていただきます。本当にいろいろとやっていて面白いクラブです。まず「大江戸ウォークボランティア例会」ということで、池袋地区を池袋のロータリアンさん達と一緒にウォーキングをしながらボランティアをしたという活動です。チラシを配ったりしています。実は池袋の会員の方達は豊島区民が一人もいないということで、池袋のことを知る機会になったとおっしゃっておりました。こちらは新聞にも載ったそうで、ローターアクトというものをうまく発信でき

た成功事例かと思えます。

あとは「耐久マラソン例会」ですが、味の素スタジアムに行って 8 時間の耐久マラソン例会ということで、ひとチーム 10 名ほどでチームを作り、1 周 1 キロから 2 キロのコースを延々と 7~8 時間、バトンを繋ぎながら回る例会です。普段運動をしない 20 代が集まったので大変になると思ったのですが、やっぱり大変でした。その後、筋肉痛がずっと続き、もう二度と出たくないとその時は思いましたが、今思い出すとすごく面白いことをしてきたと思い、1 年たつのですが、もう 1 回チャレンジしてみたいと思っております。この時、参加チームは 700 チームでしたが、私達は 680 番で、「若者もっとガンバレ！」といったような例会になっていました。その様子は後日、東京新聞、東京中日スポーツに掲載されました。

あとは「ふくろ祭り例会」です。当地区の副代表の塗木ジュン会員という方がいるのですが、池袋の神輿会の会頭をやっておりまして、その縁でこういう神輿を担ぐ例会を企画してくださいました。浴衣、ハッピーを着て格好も本格的にしながら参加しました。神輿担ぎというと、私で言えば保育園とか小学校の初めくらいで経験して、それ以降経験しなかった活動になっており、今この年になってやってみると周りも大人で勢いがあるといいますが、騒ぎ過ぎて疲れる活動でした。普段、私は祭をやる人とは出会えなかったのですが、こういう活動を通じて普段出会えない人と出会うことができました。

あとは「献血例会」です。献血例会のほうは日本赤十字社と協力をして献血例会ということで池袋ローターアクトクラブのみんなが開催してくださいました。この時はこのメンバー全員で献血をしました。確か血液 1 リットル、2 リットルというのは結構お値段が高いようで、この時メンバー全員が稼いだお金は、なんと 10 万円くらいの価格になりました。「出血大サービス」という言葉が似合うのかなと思いますが、献血活動なども行っております。

他に「初詣例会」です。巣鴨のとげぬき地蔵にローターアクトのメンバー全員でお参りしてまいりました。その後に、やはり巣鴨にある「稲荷湯」という銭湯に行きました。この銭湯は日本でもかなり古い銭湯で、映画の「テルマエ・ロマエ」のロケ地のモトになったそうです。そして私達の地区で顔の濃いメンバーがローマ人のコスプレをして写真を撮るなど、個性あふれるメンバーが揃っております。その後は近藤勇のお墓参りをみんなで行いました。

そして卓話ということですが、ローターアクトも卓話を行っております。こちらは「投票について考える例会」ということで、私の所属する地区の広報委員会の委員のなかに政治家の方とお付き合いのある方がいらっちゃって、友達程度の付き合いなのですが、「投票について考える例会」ということで卓話をいただきました。

こちらは「ヨガ例会」ということでヨガの先生を呼んで、みんなでヨガを楽しみました。そして今パストガバナーですが、当時の鈴木孝雄ガバナーに例会にお越しいただいて卓話をいただきました。

今年 5 月に水野正人パストガバナーに卓話をいただき、これからの若者はどう生きるか、どう生きていけばいいのかという例題で 2 時間くらいお話いただきました。

そしてここから私がローターアクト活動を通して感じたことですが、ローターアクトにはキーワードが 3 つあると思います。1 つは成長の機会があると思います。2 つ目は様々な出会いがあると思います。普段の会社勤めだけでは出会えないようなメンバーが沢山そろっています。例えば 7 カ国語をしゃべれる人、会計に通じていて公認会計士の資格を持っている人など。そういうメンバーと一緒に活動をしていくなかで仲間が沢山できます。そしてローターアクトクラブも単年度制をとっておりますので、様々な役職を経験できます。

私も去年、クラブの会長をしておりました。会長になるとやることが沢山あり、メンバーに指示し

たり、いろいろなところでリーダーシップをとらないといけません、そういうことも沢山味わえます。

最後に、平井委員長もおっしゃっていましたが、是非ローターアクトへの入会を皆様の社員の方、息子さん、お孫さんに勧めただけけたらと思います。普段会社への通勤だけで終わってしまう毎日からローターアクトへ入るといろいろな人と交流ができ、奉仕活動をしながらリーダーに必要ないろいろなことを考えることができる力を得ることができると思います。是非勧めてください。本当に 20 代が有意義になると思います。これは私が恥ずかしながら言っているんですが、ローターアクトは第二の青春なのかなと思っております。本当に 10 代のような「きれいな心」でいろいろなメンバー、日本全国、世界中のメンバーとバッジひとつで交流ができる。こんな素晴らしい組織は他を見渡しても絶対にはないと思います。皆様是非、ローターアクトへの入会を勧めてください。よろしく願います。

告知になりますが、来年 2016 年 6 月 12 日、日曜日に当地区ローターアクトの年次大会という、ロータリーという地区大会に相当するものが沖縄で開催されます。またローターアクトの方からも発信があると思いますが、是非皆様、沖縄に来る用事がありでしたら参加してみてください。短くなってしまいましたが、皆様ご清聴どうもありがとうございました。(終わり)

#### <平井憲太郎委員長>

ちょっとだけ情報の追加をさせていただきます。もしご興味をお持ちでしたら、ローターアクトの例会案内というものを 2~3 カ月に 1 回、クラブ宛に送っております。先月の末近くだったと思いますが、配信されていると思います。ちなみにローターアクトクラブへの例会参加はメークアップになり、クラブの出席率向上の為に皆様にご推薦いただければありがたいと思います。

例会費は極めて安いですし、夜 8 時スタートというので出席しやすいかと思っておりますのでご参考にいただければと思います。

もう一点追加ですが、今、山本君の方から沖縄での年次大会のご案内をさせていただきましたが、来年 3 月 18、19、20、21 日、APRRC、ローターアクトのアジアパシフィック地域大会というのがあります。まだ発足して 10 数年ですが、東南アジア等、環太平洋ですのでオセアニア、東南アジア、日本、韓国ですが、大勢のローターアクターが参加する大会が実は今回は京都で開かれます。

このクラブにもご案内が来ているかと思いますが、フル参加、ホテル、飯付きで 7 万円くらいです。3 泊 4 日で京都としては非常に安いと思います。もしご興味・お時間がありでしたら精一杯 20 代とおつきあいできる 3 泊 4 日ですので、われこそと思われる方は参加してローターアクト提唱への参考としていただければと思います。今日はどうもありがとうございました。(終わり)

#### <閉会点鐘>

今日は平井委員長、山本広報委員長どうもありがとうございました。御苑ロータリーでローターアクトクラブの提唱創立について理事会では決定されました。この時期に分かりやすく、大変タイムリーなお話をいただきました。本当に百人力のお話だったと思います。

年内にはメンバーを揃え、年明けにはもう一度またお二方にご指導いただきまして、できれば 3 月あたりが御苑ロータリーの一周年ですので、その頃にローターアクトクラブの産声をあげることができれば喜びに堪えないと思います。どうもありがとうございました。それでは第 31 回目の例会を終了させていただきます。(終わり)